平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場会社名　クラボウ(倉敷紡績株式会社)　　上場取引所　東
コード番号　3106　URL　http://www.kurabo.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 井上　晶博
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財経部長　(氏名) 藤井　裕詞　TEL 06-6266-5136

四半期報告書提出予定日　平成25年11月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	79,724	6.3	710	△28.2	1,296	119.3	243	△51.0
25年3月期第2四半期	74,966	△6.0	989	△63.2	591	△78.8	496	△71.3

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　2,399百万円　(―%)　25年3月期第2四半期　△798百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	1.05	―
25年3月期第2四半期	2.15	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	185,707	89,624	46.5
25年3月期	180,705	88,405	47.2

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　86,310百万円　25年3月期　85,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	―	―	5.00	5.00
26年3月期	―	―			
26年3月期(予想)			―	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	8.9	3,200	19.8	3,600	59.5	1,800	111.3	7.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	246,939,284 株	25年3月期	246,939,284 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	16,242,144 株	25年3月期	16,227,899 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	230,704,385 株	25年3月期2Q	230,718,671 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料P3.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 10
４．その他 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間（平成２５年４月１日～平成２５年９月３０日）におけるわが国経済は、政府の経済対策による公共投資の増加や株価の上昇に加え、雇用・所得環境も改善するなど、景気は緩やかながら回復基調となりました。

このような環境下にあって当社グループは、事業環境の変化にフレキシブルに対応し、着実に収益をあげることのできる事業基盤の構築を目指し、新中期経営計画「Ｆｕｔｕｒｅ’１５」を本年４月からスタートしました。その基本方針である「海外戦略の充実」のもと、生産・販売拠点の拡充・再構築、新規市場・成長分野の開拓・深耕及び当社グループ独自の技術力・営業力を生かした高付加価値商品やサービスの開発等に注力しました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は７９７億円（前年同期比６．３％増）、営業利益は７億１千万円（同２８．２％減）、経常利益は１２億９千万円（同１１９．３％増）、四半期純利益は２億４千万円（同５１．０％減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(繊維事業)

ユニフォーム分野では、ワーキング用素材が引き続く在庫調整の影響により需要が落ち込み、またカジュアル分野も衣料製品デフレの継続によりきびしい状況が続きました。一方、原糸分野は、グローバルな生産・販売により堅調に推移し、また繊維資材分野では、フィルター向け不織布の需要が順調でした。

海外子会社におきましては、ブラジルが市況回復基調にあり、また東南アジアでも洪水被害を受けたタイの子会社の生産設備が完全復旧したことなどにより、全般的に堅調に推移しました。

この結果、売上高は４６３億円（前年同期比９．８％増）、営業利益は３億９千万円（前年同期は営業損失２億７千万円）となりました。

なお、デニム事業再編の一環として、本年４月に香港の子会社株式を売却する一方、収益力の向上を目指し、新たに合弁会社を設立しました。

(化成品事業)

自動車内装材向け軟質ウレタンフォームは、国内自動車生産が昨年９月のエコカー補助金終了後の落ち込みから回復せず、低調に推移しました。

住宅建材分野では、新設住宅の着工が持ち直し傾向にあり堅調に推移しましたが、機能フィルム分野は、原料のコストアップの影響などにより、きびしい状況が続きました。

この結果、売上高は２１４億円（前年同期比４．３％増）となりましたが、コストアップの影響などにより、１億円の営業損失（前年同期は営業利益２億１千万円）となりました。

なお、自動車内装材向け軟質ウレタンフォームの生産拠点の拡充を図るため、海外では本年８月に中国広州市の「広州倉福塑料有限公司」をグループの傘下に加え、国内では本年９月から東名化成㈱の新しい製造拠点である「埼玉工場」の操業を開始しました。

(不動産活用事業)

不動産業界全般がきびしい状況にあるなか、賃貸事業の推進に注力した結果、売上高は３０億円（前年同期比０．０％減）、営業利益は１５億３千万円（同１．１％増）となりました。

なお、三重県津市の社有地につきましては、本年５月から大規模太陽光発電所（メガソーラー）用地として賃貸を開始しました。

(工作機械事業)

主力の横中ぐりフライス盤は、国内販売は低調に推移しました。また輸出は、北米向けは堅調に推移したものの、欧州向けが低迷しました。

この結果、売上高は２３億円（前年同期比１３．４％減）、営業利益は７千万円（同７２．９％減）となりました。

(エレクトロニクス事業)

攪拌脱泡装置や赤外線膜厚計は堅調に推移しましたが、基板検査装置や半導体向け成分計は低調に推移しました。

この結果、売上高は２０億円（前年同期比６．９％減）、営業利益は６百万円（同９０．４％減）となりました。

（その他の事業）

エンジニアリング事業は、水処理装置は低調に推移しましたが、ガス処理装置は堅調に推移しました。

バイオメディカル事業は、遺伝子受託解析サービスは堅調に推移しましたが、画像解析装置や海外向けの核酸自動分離装置は低調に推移しました。

食品事業は、健康食品向け製品は低調に推移しましたが、スープ市場向け及び製菓向け製品が好調に推移し、即席めん具材も堅調でした。

この結果、その他の事業の売上高は４４億円（前年同期比６．１％増）、営業損失は１億７千万円（前年同期は営業損失２億３千万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金やたな卸資産が増加したことなどにより、１,８５７億円と前連結会計年度末に比べ５０億円増加しました。

負債は、支払手形及び買掛金や短期借入金が増加したことなどにより、９６０億円と前連結会計年度末に比べ３７億円増加しました。

純資産は、利益剰余金は減少しましたが、為替換算調整勘定やその他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、８９６億円と前連結会計年度末に比べ１２億円増加しました。

以上の結果、自己資本比率は０．７ポイント低下して４６．５％となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ１８億円増加し、当第２四半期連結会計期間末には１４６億２千万円（前年同期末は１１０億８千万円）となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、３６億８千万円（前年同期比２６億３千万円資金増）となりました。これは、たな卸資産の増加による資金減１１億５千万円があったものの、仕入債務の増加による資金増３０億４千万円や減価償却費の内部留保２９億８千万円があったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、１６億７千万円（前年同期比２２億３千万円資金増）となりました。これは、子会社株式の売却による収入１４億１千万円があったものの、有形及び無形固定資産の取得による支出３４億４千万円があったことなどによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、４億４千万円（前年同期比９億１千万円資金増）となりました。これは、長期借入れによる収入１０億５千万円があったものの、配当金の支払額１１億５千万円があったことなどによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期（平成２５年４月１日～平成２６年３月３１日）の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成２５年５月８日に公表した業績予想を修正いたしました。

なお、詳細は、本日別途開示の「平成２６年３月期第２四半期連結累計期間業績予想数値と実績値との差異及び通期連結業績予想数値の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,384	15,422
受取手形及び売掛金	37,957	38,675
有価証券	182	1
商品及び製品	14,375	14,636
仕掛品	6,641	7,802
原材料及び貯蔵品	5,093	4,959
その他	5,751	6,375
貸倒引当金	△138	△97
流動資産合計	83,246	87,777
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,132	27,143
その他（純額）	29,946	29,443
有形固定資産合計	57,078	56,587
無形固定資産	1,641	1,474
投資その他の資産		
投資有価証券	33,848	34,948
その他	5,169	5,199
貸倒引当金	△277	△278
投資その他の資産合計	38,739	39,868
固定資産合計	97,459	97,929
資産合計	180,705	185,707
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,784	23,449
短期借入金	26,661	28,566
未払法人税等	797	780
賞与引当金	1,229	1,217
事業構造改善引当金	1,483	503
その他	9,172	7,948
流動負債合計	59,128	62,465
固定負債		
長期借入金	3,403	3,955
退職給付引当金	7,970	7,873
役員退職慰労引当金	205	149
その他	21,591	21,638
固定負債合計	33,171	33,617
負債合計	92,300	96,083

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,040	22,040
資本剰余金	18,207	18,207
利益剰余金	48,187	47,277
自己株式	△2,965	△2,967
株主資本合計	85,470	84,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,549	9,370
繰延ヘッジ損益	67	22
為替換算調整勘定	△8,711	△7,640
その他の包括利益累計額合計	△94	1,752
少数株主持分	3,030	3,313
純資産合計	88,405	89,624
負債純資産合計	180,705	185,707

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	74,966	79,724
売上原価	63,657	67,894
売上総利益	11,308	11,829
販売費及び一般管理費	10,319	11,119
営業利益	989	710
営業外収益		
受取利息	59	64
受取配当金	343	357
持分法による投資利益	1	23
為替差益	－	298
その他	277	548
営業外収益合計	682	1,293
営業外費用		
支払利息	278	288
その他	801	418
営業外費用合計	1,080	706
経常利益	591	1,296
特別利益		
保険差益	806	－
特別利益合計	806	－
特別損失		
関係会社株式売却損	－	449
特別損失合計	－	449
税金等調整前四半期純利益	1,397	846
法人税等	543	624
少数株主損益調整前四半期純利益	853	222
少数株主利益又は少数株主損失（△）	356	△20
四半期純利益	496	243

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	853	222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,566	819
繰延ヘッジ損益	△80	△44
為替換算調整勘定	△10	1,355
持分法適用会社に対する持分相当額	4	46
その他の包括利益合計	△1,652	2,176
四半期包括利益	△798	2,399
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,204	2,090
少数株主に係る四半期包括利益	406	308

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,397	846
減価償却費	2,533	2,989
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	81	△191
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△14	△48
受取利息及び受取配当金	△402	△422
支払利息	278	288
為替差損益（△は益）	△45	△31
持分法による投資損益（△は益）	△1	△23
有形及び無形固定資産売却損益（△は益）	△5	△61
有形及び無形固定資産除却損	29	16
有価証券及び投資有価証券売却損益（△は益）	1	439
有価証券及び投資有価証券評価損益（△は益）	21	5
保険差益	△806	－
売上債権の増減額（△は増加）	1,407	253
たな卸資産の増減額（△は増加）	△415	△1,150
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,554	3,043
預り敷金及び保証金の増減額（△は減少）	9	47
事業構造改善引当金の増減額（△は減少）	－	△980
その他	△325	△826
小計	1,188	4,192
利息及び配当金の受取額	428	426
利息の支払額	△224	△249
保険金の受取額	2,370	－
災害損失の支払額	△1,371	－
法人税等の支払額	△1,346	△689
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,044	3,680
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	535	△51
有価証券の償還による収入	300	－
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,073	△3,440
有形及び無形固定資産の売却による収入	30	103
投資有価証券の取得による支出	△5	△248
投資有価証券の売却による収入	－	504
投資有価証券の償還による収入	300	－
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	－	96
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	－	1,412
関係会社株式の取得による支出	－	△76
貸付けによる支出	△91	△93
貸付金の回収による収入	94	92
その他	0	22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,909	△1,678

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	720	787
長期借入れによる収入	250	1,050
長期借入金の返済による支出	△594	△538
自己株式の取得による支出	△0	△2
自己株式の売却による収入	0	－
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△19	△17
配当金の支払額	△1,151	△1,150
その他	△571	△578
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,368	△448
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	253
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△4,222	1,806
現金及び現金同等物の期首残高	15,304	12,815
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,081	14,622

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

セグメント情報

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						その他の事業（注）１（百万円）	合計（百万円）	調整額（注）２（百万円）	四半期連結損益計算書計上額（注）３（百万円）
	繊維事業（百万円）	化成品事業（百万円）	不動産活用事業（百万円）	工作機械事業（百万円）	エレクトロニクス事業（百万円）	計（百万円）				
売上高										
外部顧客への売上高	42,203	20,518	3,084	2,769	2,193	70,769	4,197	74,966	－	74,966
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	19	82	0	10	122	632	754	△754	－
計	42,212	20,537	3,166	2,769	2,204	70,891	4,829	75,721	△754	74,966
セグメント利益又は損失（△）	△272	211	1,520	289	67	1,817	△236	1,580	△590	989

（注）１．「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業、バイオメディカル事業、食品事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△590百万円には、全社費用△582百万円及びその他の調整額△８百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						その他の事業（注）１（百万円）	合計（百万円）	調整額（注）２（百万円）	四半期連結損益計算書計上額（注）３（百万円）
	繊維事業（百万円）	化成品事業（百万円）	不動産活用事業（百万円）	工作機械事業（百万円）	エレクトロニクス事業（百万円）	計（百万円）				
売上高										
外部顧客への売上高	46,341	21,406	3,083	2,397	2,042	75,270	4,453	79,724	－	79,724
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	11	83	0	8	112	106	218	△218	－
計	46,350	21,418	3,166	2,397	2,050	75,383	4,559	79,942	△218	79,724
セグメント利益又は損失（△）	394	△106	1,536	78	6	1,909	△174	1,734	△1,024	710

（注）１．「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業、バイオメディカル事業、食品事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△1,024百万円には、全社費用△1,028百万円及びその他の調整額３百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．その他

（参考情報）

（１）従業員数の推移（連結）

（単位：人）

23年９月期	5,143
24年９月期	5,071
25年９月期	4,903
24年３月期	5,036
25年３月期	5,056

（注）上記のほか、臨時社員・パートタイマー（25年９月期 1,116人）がおります。

（２）有利子負債の推移（連結）

（単位：百万円）

23年９月期	29,208
24年９月期	28,933
25年９月期	32,522
24年３月期	28,562
25年３月期	30,064

（注）長・短期借入金の合計金額であります。

（３）設備投資額・減価償却費の推移（連結）

（単位：百万円）

	設備投資額	減価償却費
23年９月期	2,039	2,664
24年９月期	5,427	2,615
25年９月期	2,702	2,989
24年３月期	6,895	5,479
25年３月期	9,149	5,572
26年３月期（予想）	6,000	5,900

（４）平成26年３月期の通期業績予想（連結）

（単位：百万円）

	合計	繊維事業	化成品事業	不動産活用事業	工作機械事業	エレクトロニクス事業	その他の事業	消去又は全社
売上高	160,000	85,200	47,000	6,200	6,000	4,400	11,200	－
営業利益	3,200	1,400	400	3,000	200	100	200	△2,100
経常利益	3,600							
当期純利益	1,800							